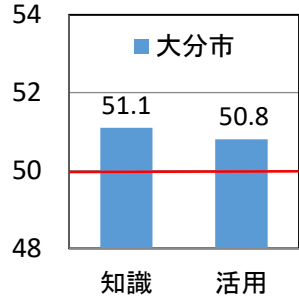
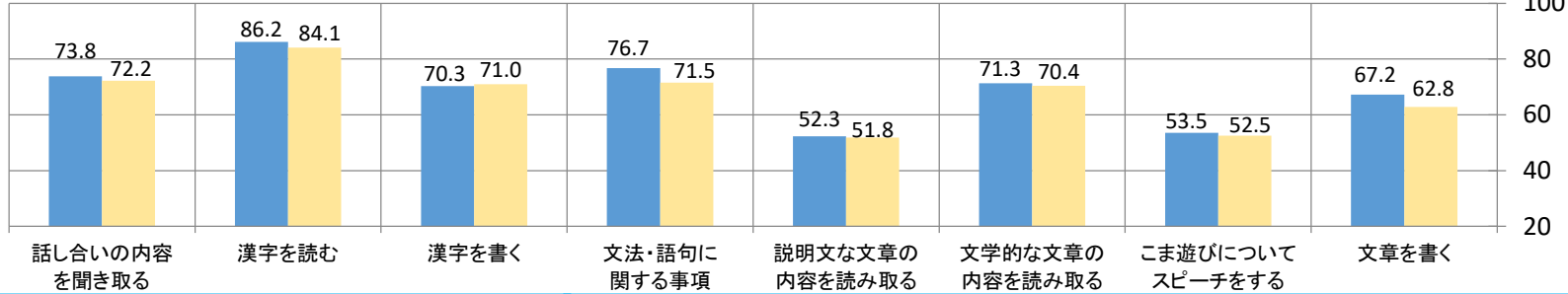


調査結果

知識活用別偏差値



問題の内容別平均正答率 (%)



分析Ⅰ

読むこと 本調査問題4(3)

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題が見られる。

◆考察◆

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える学習では、なぜそのような構成になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなどについて、自分の考えをもつことができるようにすることが大切である。指導に当たっては、既習の説明文を使った比較読みによって、それぞれの筆者の論理の展開の特長に気付かせ、自分の考えをもたせる学習活動が考えられる。

授業アイデア例

言語活動：2つの説明的な文章を比較して、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えをもつ。

第一次

- 同じ主張でありながら、根拠や表現が異なる簡単なモデル文章の中で一番主張が伝わる文章を選び、その理由を交流する。
- 「モアイは語る」と「言葉」をもつ鳥、シジウカラを読む。



前時の思考ツール（フィッシュボーン）に要約したものを参考に、各班で共通点と相違点を考えていきましょう。

相違点

- 「モアイ」は「モアイ」は問題提示の文から始めて答えを述べて、「言葉」は読者のために接辞や指示語が使われている。
- 「モアイ」は写真で興味をそそげ、「言葉」はグラフや図表で分かりやすくしている。

共通点

- 序論で、題名にあるものを説明し、読者の関心を高めるように書いている。
- 結論に書かれていることについて、今から話すべきことについて、まとめられている。

めあて

二つの文章を比較して、構成や展開について、共通点と相違点を見つけてよ。

モアイは語る。シジウカラ。言葉は語る。モアイは語る。シジウカラ。言葉は語る。

二つの文章を比較して、構成や展開、表現の仕方について、自分の考えをもつ。

第二次

- 2つの文章について、思考ツール（フィッシュボーン）を用いて要約する。
- それぞれの文章の構成や展開について比較し、共通点と相違点を挙げる。…本時



どちらも筆者の意見を支える根拠として、事実（実験や観察、データ等）を用いることによって、説得力が増すという効果につながっているよ。

段落のつながりを意識して読むことで、意見と根拠のつながりを明確に認識することもできるね。

第三次

- 2つの文章から筆者のメッセージがより伝わると思う文章を選ぶ。
- 次単元の説得力のある文章を書く単元に向けて、作文に取り組む際のコツをまとめる。



2つの文章を比較して読むことで、文章の書き方の共通点や相違点（筆者独自の工夫点）を具体的に整理し、それぞれの文章の良さに気づかせることが大切です。

分析Ⅱ

スピーチ 本調査問題6(3)

情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように、話の構成を考えることに課題が見られる。

◆考察◆

情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように、話の構成を考える学習では、自分の立場や考えを踏まえて、より相手が納得できる展開を考え、話の全体を俯瞰して、相手を意識した論理の展開を工夫させることが大切である。指導に当たっては、構成や展開の工夫の際に、相手意識をもって考えさせることが必要である。

授業アイデア例

言語活動：魅力的な提案をしよう  
～修学旅行の自主研修の訪問場所についてプレゼンテーションをする～

第一次

- プレゼンテーションの映像を見て、単元の見通しをもつ。



自分が伝えたいことだけを伝えるのではなく、相手のニーズを考えて、何をどのように伝えれば、より効果的なのかを考えよう。

構成や展開をどのように工夫すれば、学級のおもちゃが訪問したいと思うかな？

買い物をしたい人もいるから、お土産屋が近いというアピールは効果的！

第二次

- 紹介する訪問場所を選んで、情報を集め、整理する。
- 相手を想定した構成メモを作成し、構成や展開を工夫する。…本時
- 枚数や字数を限定し、ipadで効果的な資料を作成する。



多くの場所を回りたいという人がいるから、アクセスの良さを魅力に感じるはずだね。



紹介する順番も、移動する順に合わせて紹介すれば、みんなに伝わりやすいんじゃないかなあ。

第三次

- 各班のプレゼンテーションを行う。
- 他班のプレゼンテーションについて評価し合い、相手を意識した論理の展開について考える。

資料③ アクセスの時間	資料② お勧めスポット「清水寺」	資料① この発表のテーマ紹介	構成メモ 説明する内容
聞き手の反応予想	聞き手の反応予想	聞き手の反応予想	聞き手の反応予想

「何のために伝えるのか」「どうすれば選択・採用されるか」を意識して話し合いを進めないといいね。

今回の単元のねらいは、構成や展開の工夫を考えることなので、資料の枚数や字数、使用する写真などは限定します。

構成メモのワークシートに、聞き手の反応を予想させる欄を作るなど、相手意識をもって構成を工夫させることが大切です。